

2024年度事業報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

特定非営利活動法人石西礁湖サンゴ礁基金

1 事業の成果

攪乱要因除去事業のうち、「農地からの赤土・栄養塩等流出防止」では、引き続き AI を活用した除草剤自動散布装置の作製を進め、トラクター搭載及び自走式の2つの方式で、農地における実験を行った。

「リンの島内循環モデル形成による水質改善」では、堆肥化等によるリンの島内循環に向けて、農地でのリンの調査及びモデル化の推進の他、専門家を講師に招いて堆肥セミナーを開催し約120人の参加があった。

「生活スタイルの改善」は、具体的事業は実施しなかったが、下記「『八重山うみしまフレンドシップ』の普及」の中のWebサイト拡充で「八重山くらしスタイル」のページを新設すると共に、サンゴカフェの中で取り上げ、啓発に努めた。「攪乱要因除去のその他の取組み」は、オニヒトデの大発生がなかったため駆除を行わなかった等、実施しなかった。

広報啓発事業のうち「『八重山（やいま）うみしまフレンドシップ』の普及」は、2022年度に運用を開始した、サンゴ礁保全再生に役立つ活動・事業を登録する制度について、「わくわくサンゴ石垣島」と協力して開催した「夏休みわくわくサンゴ教室」、今回初めて実施した、高校生等を対象とするシュノーケリング体験、サンゴカフェを通じ、フレンドシップ登録の拡大を図ると共に、「フレンドシップ通信Vol.3」の発行及びWebサイト拡充を行った。

「地域イベント、各種メディアによる広報啓発」では、石垣島まつり等への出展、Facebookページでの情報発信等により、石西礁湖等のサンゴ礁の現状、陸域を含めた対策の必要性、本法人の活動等について住民等の理解を深めることを目指した。「畑と海をつなぐサンゴのまつり」は、ひまわり種まきを担当する、芝浦工大「石垣島をもっと元気にするプロジェクト」メンバーが来島を見送ったこともあり、開催できなかった。

「地元小中高校生対象の環境教育」では、市内3高校の高校生を対象として、サンゴ礁保全のための赤土対策の必要性と手法等について、外部講師を招き講義と実験を行った。また、「わくわくサンゴ石垣島」が行う小学校でのサンゴ学習を支援した。

高校における環境教育は、沖縄県赤土等流出防止活動支援事業補助金の交付を受けて行った。「『八重山うみしまフレンドシップ』の普及」は、主に、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業の支援を受けて行った。

「リンの島内循環モデル形成による水質改善」は、主に、環境省沖縄奄美自然環境事務所の「令和6年度西表石垣国立公園における陸域負荷対策業務」受託事業として行った

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	事業費の 金額 (千円)
攪乱要因除去 事業	農地からの赤土・栄養 塩等流出防止	2024年4月 ～2025年3 月	石垣島内	2人	農家、住民、観光客 等多数	139
	リンの島内循環モデル 形成による水質改善	2024年8月 ～2025年3 月	石垣島内	5人	農家、住民、観光客 等多数	923
	生活スタイルの改善 (実施しなかった)					
	攪乱要因除去のその他 の取組み (実施しなかった)					
良好な環境創 成事業	実施しなかった					
持続可能な利 用に関する事 業	実施しなかった					
調査研究・モ ニタリング等 事業	実施しなかった					
広報啓発事業	「八重山うみしまフレ ンドシップ」の普及	2024年4月 ～2025年 3月	石垣市内 竹富町内	15人	住民、観光客等多数	1329
	地域イベント、各種メ ディアによる広報啓発	2024年7月 ～2025年 3月	石垣市内 会場等	20人	住民、観光客等 500人	172
	地元小中高校生対象の 環境教育	2024年7月 ～2025年 2月	石垣市内 等	28人	地元小学・高校生 194人	584
その他目的を 達成するた めに必要な事業	実施しなかった					

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	事業費の 予算額 (千円)
物品等販売事業	実施しなかった				
イベント等開催事業	実施しなかった				
印刷物等への 広告掲載事業	実施しなかった				
商標等の提供 事業	実施しなかった				